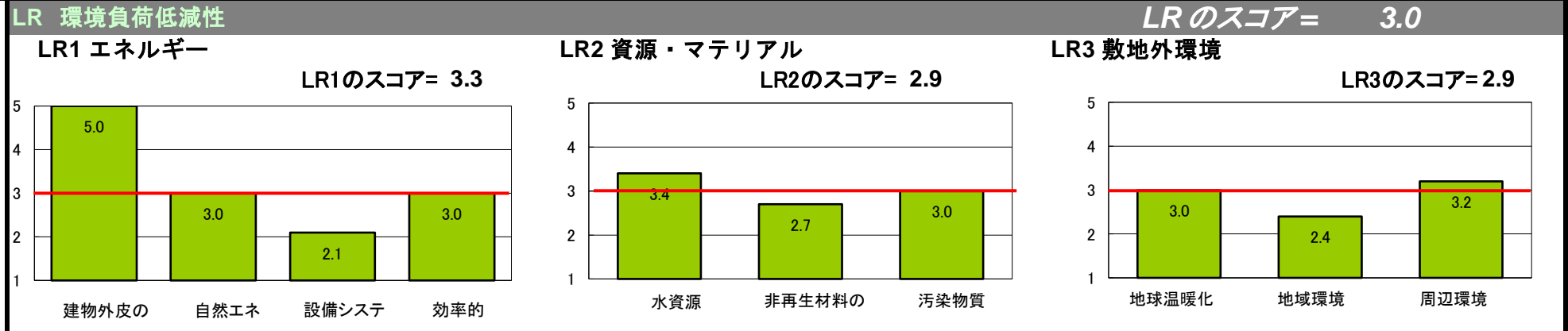
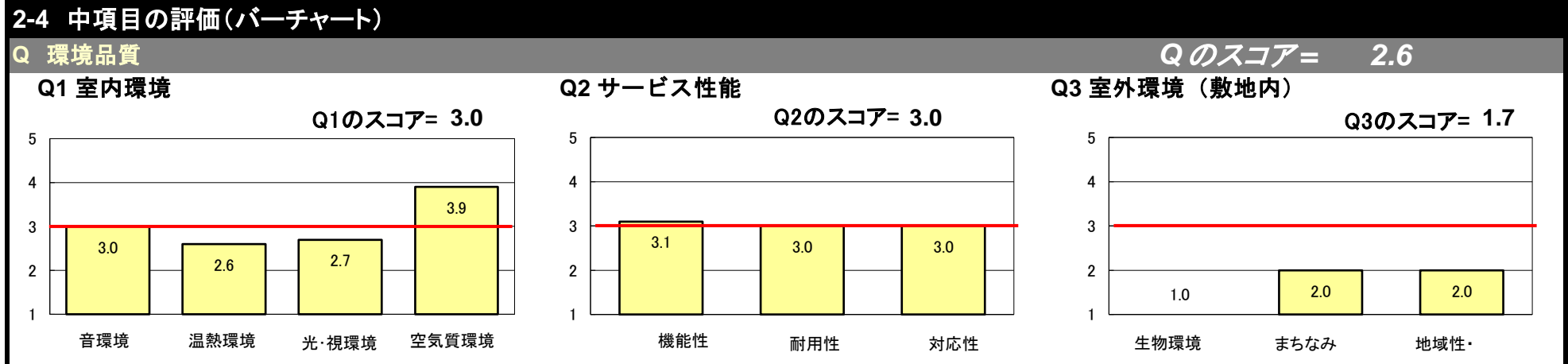
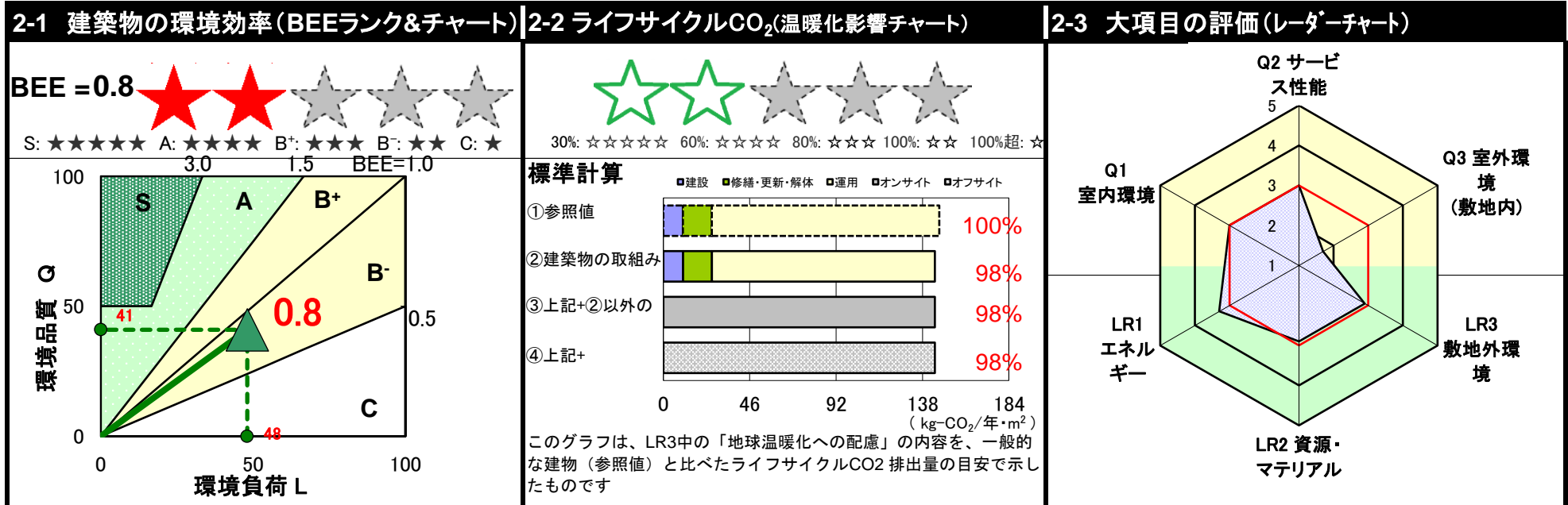
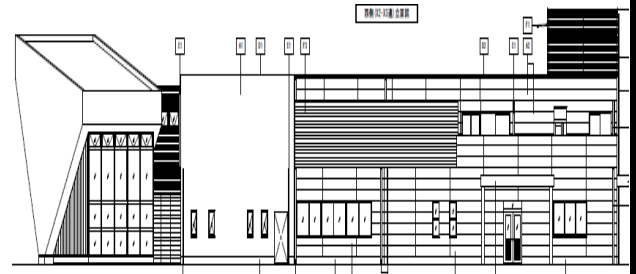


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)安形医院	階数	地下0階地上2F
建設地	愛知県豊川市一宮町東136,137,137-1,138,139,139-1,140,140-1	構造	S造
用途地域	市街化区域・準防火地域	平均居住人員	100人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2021年8月24日
敷地面積	5,407 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 安藤建築設計 安藤 敦也
建築面積	2,163 m <sup>2</sup>	確認日	2021年8月25日
延床面積	2,428 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 安藤建築設計 安藤 敦也



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
<b>3.0</b>	<b>1.0</b>
②資源の有効活用	④地域材の活用
<b>2.8</b>	<b>1.0</b>
	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) <b>11.4 %</b> 建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) <b>0.1 %</b>
	<外装材に使用した地域性のある材料> なし <建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{建築面積} + \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部						住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄				評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	全体	
		<p>Q 建築物の環境品質</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>1 音環境</p> <p>1.1 室内騒音レベル</p> <p>1.2 遮音</p> <p>1 開口部遮音性能</p> <p>2 界壁遮音性能</p> <p>3 界床遮音性能(軽量衝撃源)</p> <p>4 界床遮音性能(重量衝撃源)</p> <p>1.3 吸音</p> <p>2 温熱環境</p> <p>2.1 室温制御</p> <p>1 室温</p> <p>2 外皮性能</p> <p>3 ゾーン別制御性</p> <p>2.2 湿度制御</p> <p>2.3 空調方式</p> <p>3 光・視環境</p> <p>3.1 昼光利用</p> <p>1 昼光率</p> <p>2 方位別開口</p> <p>3 昼光利用設備</p> <p>3.2 グレア対策</p> <p>1 昼光制御</p> <p>3.3 照度</p> <p>3.4 照明制御</p> <p>4 空気質環境</p> <p>4.1 発生源対策</p> <p>1 化学汚染物質</p> <p>4.2 換気</p> <p>1 換気量</p> <p>2 自然換気性能</p> <p>3 取り入れ外気への配慮</p> <p>4.3 運用管理</p> <p>1 CO<sub>2</sub>の監視</p> <p>2 喫煙の制御</p> <p>Q2 サービス性能</p> <p>1 機能性</p> <p>1.1 機能性・使いやすさ</p> <p>1 広さ・収納性</p> <p>2 高度情報通信設備対応</p> <p>3 バリアフリー計画</p> <p>1.2 心理性・快適性</p> <p>1 広さ感・景観 (天井高)</p> <p>2 リフレッシュスペース</p> <p>3 内装計画</p> <p>1.3 維持管理</p> <p>1 維持管理に配慮した設計</p> <p>2 維持管理用機能の確保</p> <p>2 耐用性・信頼性</p> <p>2.1 耐震・免震・制震・制振</p> <p>1 耐震性(建物のこわれにくさ)</p> <p>2 免震・制震・制振性能</p> <p>2.2 部品・部材の耐用年数</p> <p>1 躯体材料の耐用年数</p> <p>2 外壁仕上げ材の補修必要間隔</p> <p>3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔</p> <p>4 空調換気ダクトの更新必要間隔</p> <p>5 空調・給排水配管の更新必要間隔</p> <p>6 主要設備機器の更新必要間隔</p> <p>2.4 信頼性</p> <p>1 空調・換気設備</p> <p>2 給排水・衛生設備</p> <p>3 電気設備</p> <p>4 機械・配管支持方法</p> <p>5 通信・情報設備</p>											
					0.1	3.0	0.15	-	-	-	-	2.6	
					0.40							3.0	
					0.1	3.0	0.15	-	-	-	-	3.0	
					3.0	3.0	0.40	-	-	-	-		
					0.4	3.0	0.40	-	-	-	-		
					-	3.0	0.40	-	-	-	-		
					-	3.0	0.60	-	-	-	-		
					-	3.0	-	-	-	-	-		
					-	3.0	-	-	-	-	-		
					-	3.0	-	-	-	-	-		
					-	3.0	0.20	-	-	-	-		
					0.3	2.6	0.35	-	-	-	-	2.6	
					0.5	3.0	0.50	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.38	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.25	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.38	-	-	-	-		
					3.0	1.0	0.20	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.30	-	-	-	-		
					0.2	2.7	0.25	-	-	-	-	2.7	
					0.3	3.0	0.30	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.60	-	-	-	-		
					-	-	-	-	3.0	-	-		
					3.0	3.0	0.40	-	-	-	-		
					0.3	3.0	0.30	-	-	-	-		
					5.0	3.0	1.00	-	-	-	-		
					3.0	1.0	0.15	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.25	-	-	-	-		
					0.2	3.9	0.25	-	-	-	-	3.9	
					0.5	4.0	0.50	-	-	-	-		
					3.0	4.0	1.00	-	-	-	-		
					0.3	3.0	0.30	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.50	-	-	-	-		
					3.0	3.0	-	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.50	-	-	-	-		
					0.2	5.0	0.20	-	-	-	-		
					3.0	3.0	-	-	-	-	-		
					3.0	5.0	1.00	-	-	-	-		
					-	-	0.30	-	-	-	-	3.0	
					0.4	3.1	0.40	-	-	-	-	3.1	
					0.4	3.0	0.40	-	-	-	-		
					3.0	3.0	-	-	-	-	-		
					3.0	3.0	-	-	-	-	-		
					3.0	3.0	1.00	-	-	-	-		
					0.3	3.0	0.30	-	-	-	-		
					3.0	3.0	-	-	-	-	-		
					3.0	3.0	-	-	-	-	-		
					3.0	3.0	1.00	-	-	-	-		
					0.3	3.5	0.30	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.50	-	-	-	-		
					-	4.0	0.50	-	-	-	-		
					0.3	3.0	0.31	-	-	-	-	3.0	
					0.4	3.0	0.48	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.80	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
					0.3	3.3	0.33	-	-	-	-		
					-	3.0	0.23	-	-	-	-		
					-	3.0	0.23	-	-	-	-		
					-	3.0	0.09	-	-	-	-		
					-	3.0	0.08	-	-	-	-		
					-	5.0	0.15	-	-	-	-		
					-	3.0	0.23	-	-	-	-		
					0.1	2.8	0.19	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
					3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
					3.0	2.0	0.20	-	-	-	-		

3 対応性・更新性			0.2	3.0	0.29	-	-	-	3.0
3.1 空間のゆとり			0.3	3.0	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり		-	3.0	0.60	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	3.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②	-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30	-	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出		独自③	-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	-	2.0	0.40	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI <sub>m</sub> =0.76です。	3.0	5.0	0.30	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.20	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			3.0	2.1	0.30	-	-	-	2.1
4 効率的運用			0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	3.0	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	2.9
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水		節水水栓を採用しています。	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	2.7	0.63	-	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			-	2.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.21	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	3.0	1.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	3.0	4.0	0.25	-	-	-	
		躯体と仕上げが容易に分別できます。							
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.0	0.68	-	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	3.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		①	-	3.0	0.33	-	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			0.3	2.4	0.33	-	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.7	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自	-	3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	-	4.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		-	1.0	0.25	-	-	-	
		十分な駐車場・駐輪場を計画しています。							
3 周辺環境への配慮			0.3	3.2	0.33	-	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自	-	3.0	1.00	-	-	-	
2	振動	独自	-	-	-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制		-	3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制		-	3.0	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	4.4	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	5.0	0.70	-	-	-	
2	屋光の建物外壁(による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30	-	-	-	
		外に漏れる光を点滅させたり色を付けたりしません。							

**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)安形医院

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.0</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.0	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.8</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:11.4%/建物緑化:0.1%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	外壁、屋根ともに断熱材を設け、Low-eガラスを積極的に採用することで熱損失を抑制すると共に、LED照明を採用するなどして一次エネルギー消費量の結果も基準値内に収まっています。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避しています。
Q2 サービス性能	給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理しやすい設計となっています。 天井高の高い開放感のある空間を設定しています。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地周囲からの視線を遮らないような外構計画とし、防犯性に配慮しています。
LR1 エネルギー	外皮・一次エネルギーの結果が基準値を満たしています。
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別できる材料を使用しています。
LR3 敷地外環境	LED照明を採用して設備システムの高効率化を図っています
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。